

こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

宇佐美 さやか です



日本共産党神奈川区事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：045-491-6843
FAX：045-491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

市民要望懇談会を開催

市民の暮らし支える施策に予算を、暮らしに希望を

日本共産党横浜市議団は8月3日（金）、平沼記念レストハウス（文化体育館併設）で、来年度の予算編成に向けた市民要望懇談会を開き、市政に対する要望をお聞きしました。会場には42人が集まり、16人から市政要望などが寄せられました。

敬老パス改悪、水道料金値上げ、カジノ誘致など、悪政をストップし、暮らしに希望を…団長挨拶

はじめに、あらき由美子団長（南区選出）は、4月の市議選で、9人の現職全員が再選し、前期と同じように8つの常任委員会すべてに党議員が所属し、行政の動向把握が全分野でできることを紹介。その条件を生かして、市民要望の実現を行政に迫っていくと述べました。また、市議選後に、敬老パスの値上げ・サービス切り下げや水道料金の値上げ、カジノ誘致に向けた市民誘導、大規模開発の支援や大企業優遇など、市民の暮らし応援とは逆行する市政が進められようとしているが、市民と力を合わせ、議会の内外で悪政ストップに向けて全力をあげていくと決意を述べました。その上で、中学校給食の実現や地域交通の充実、再生可能エネルギーの普及、小規模企業支援を柱にした市内経済活性化、防災強化など、市民が必要としている施策の前進を粘り強く実現し、暮らしに希望が持てる横浜にしていこうと呼びかけました。

「カジノやめよ」「開かれた教科書採択を」「敬老パスは他都市を見習って拡充を」など次々と…

●市が行ったカジノを含むIRの調査報告書の説明会に行った。「白紙」と言いながら、事業者が示した提案書をベタ褒めする内容。市民を誘導するこのようなやり方は許せない。山下ふ頭の再開発は市民が望むかたちは何かを集めて、対案として示したい。



懇談会の様子＝8/3

- 横浜市政は財政が厳しいと聞くが、1千億円を超える新市庁舎建設、カジノ誘致のためのインフラ整備、みなとみらい21地区開発に偏った税金の使い方をしている。おかしい。
- 他市から引っ越してきたが、中学校給食を実施していないと聞き、愕然とした。市長や議会はしっかり仕事をしてほしい。
- 中学校3年間は子どもも保護者もあつという間。中学校給食の早期実現に向けて署名活動など目標をもって取り組みたい。
- 敬老パス制度は、社会に必要とされている制度なので、サービス切り下げでなく拡充を。
- バスが1時間に一本しか通らない地域がある。満員状態の時間帯もあって、バス前方の乗り口から乗れず、後ろ降り口から乗るしかない対応をしている時もある。もっと公共交通を拡充してほしい。
- 中山駅にエレベーターがないので早く設置を。踏切の立体化など長年求めてきたものが事業化されるなど、少し前進した。引き続き早期実現に向けて運動を進める。
- 生活保護の切り下げは本当に苦しい。就学援助制度なども対象基準が低すぎる。市として独自支援の強化を。国の悪政に、自治体は防波堤の役割を発揮を。
- 先日の教科書採択の傍聴に行った。直接傍聴枠が20人程度しかなく、審議の内容も分かりづらい。なぜ6人の教育委員・教育長だけで決めてしまうのかも理解できない。子どもたちの未来にとって大切な教科書選定のあり方として納得できない。
- 公園にトイレを設置してほしい。
- ある通学路では、大きな道路を横断する箇所があるが、信号が10秒で変わってしまう。子どもだけでなく高齢者にとっても危険だ。など、多岐にわたって要望が出されました。